

12/4 福井

■原発再稼働「滋賀県同意も条件に」 「卒原発」を掲げて7月の滋賀県知事選で当選した三日月大造氏は3日、大阪市内で開かれた関西プレスクラブの会合で講演し、原発再稼働に向けた地元の同意手続きに関して「どっしり手順を進めていくのか、ルールを国が整備すべきだ」と主張した。

滋賀県の一部は、福井県の日本海沿岸に立地する原発から30キロ圏内に含まれるため、事故が起きたれば被害が及ぶと指摘。「立地自治体だけでなく、滋賀県にも確認させてほしい」と求め、再稼働には滋賀県の同意も条件とすべきだとの見解をあらためて示した。

さらに、現在は再稼働までの地元手続きが「供給側の（電力会社の）論理が勝ち過ぎていて印象だ」と強調。新たにルール化するのに際し、利用者や広域住民などの幅広い意見を「もう少し再稼働のプロセスに入れていく必要がある」と訴えた。